

土木学会平成27年度全国大会
研究討論会 研-10 資料

待ったなし！ 土木界のダイバーシティ&インクルージョン

座 長 保田祐司 鹿島建設（株）
（ダイバーシティ推進委員会・副委員長）
話題提供者 岩城奈津 株式会社クオリア・主席研究員
飯島玲子 パシフィックコンサルタンツ（株）
（ダイバーシティ推進委員会
提言検討小委員会 副委員長）

日 時 平成27年9月18日（金）16：20～18：20
場 所 岡山大学津島キャンパス
教 室 VI-11（B32講義室）

ダイバーシティ推進委員会

土木学会 ダイバーシティ&インクルージョン 行動宣言

2015.09.18 土木学会全国大会 研究討論会

(公社) 土木学会 ダイバーシティ推進委員会

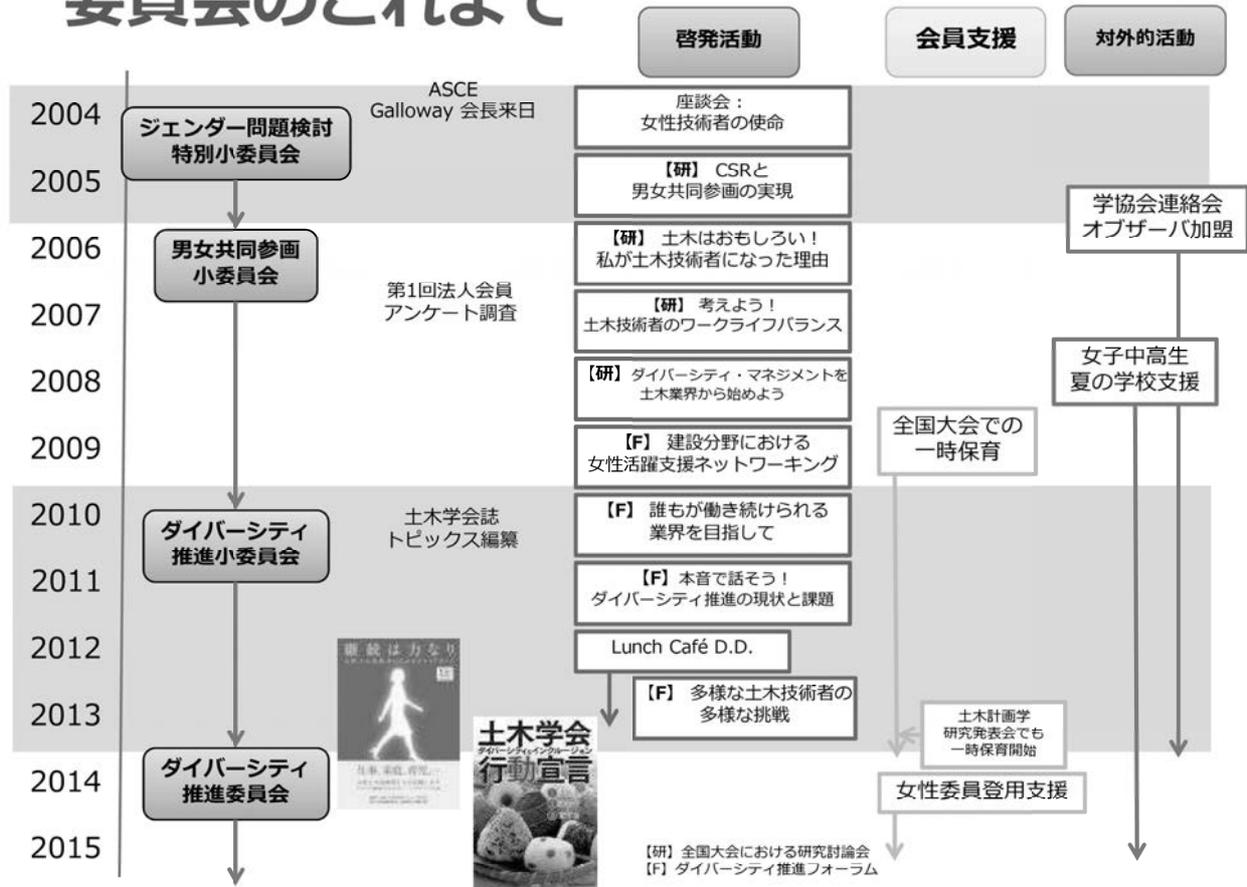
<http://committees.jsce.or.jp/diversity/>



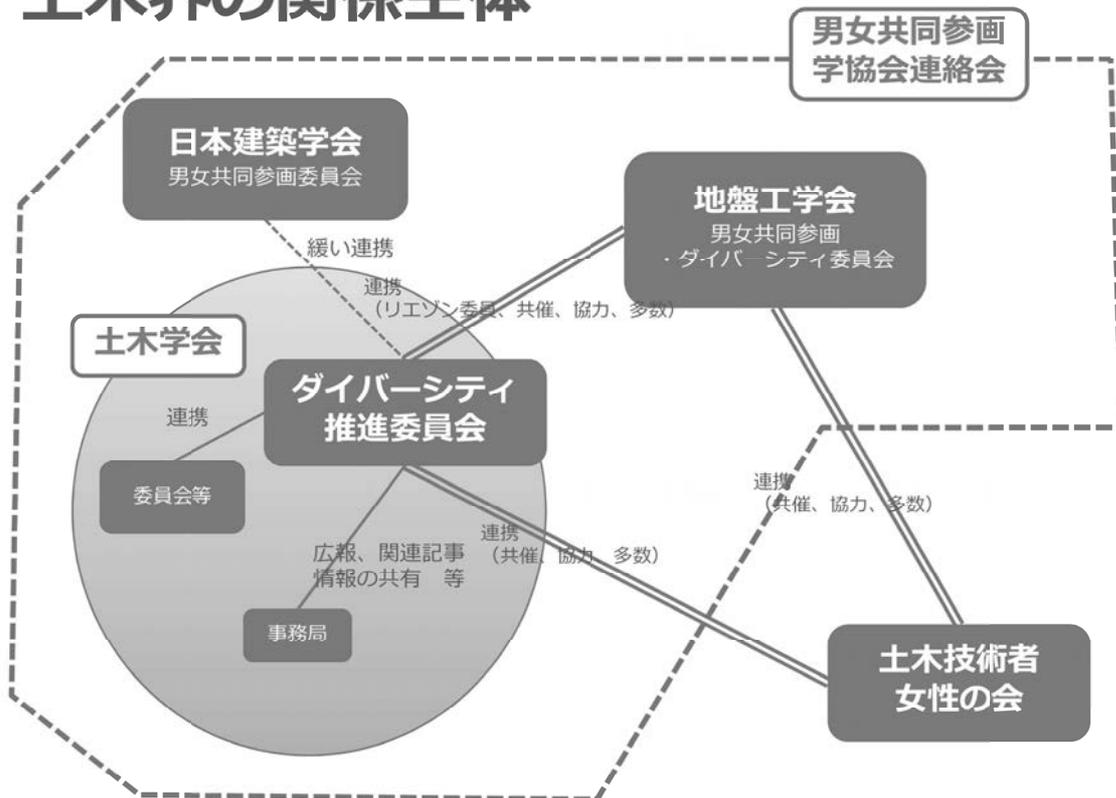
これまでの動き

	 土木学会	 地盤工学会	 土木技術者 女性の会
1980			
1985	1985 「男女雇用機会均等法」成立	1982 小特集 「女性土木技術者登場」	1983 設立
1990	1991 「育児休業法等に関する法律」成立 1994 男女共同参画推進本部設置		
1995	1996 「男女共同参画2000年プラン」策定 1999 「男女共同参画社会基本法」制定	1996 別冊増刊 「土木と女性技術者」	1999 「CEへの扉」発行
2000	2000 「男女共同参画基本計画」策定 2001 男女共同参画担当大臣設置		
2003	2003 「2020年30%」の数値目標制定	2004 ASCE Galloway会長来訪 2004 委員会設置	2003 坑内労働規制 緩和WG設置
2004	2004 「女性国家公務員の採用・登用、 拡大等について」閣議決定		2004 企画部 取り組み開始 2005 女性登用依頼 文書発信
2005	2005 「男女共同参画基本計画（第2次）」 閣議決定 2006 労働基準法改正により、 女性の坑内労働規制緩和	2006 特集 「女性技術者が土木を変える」	2006 「CEへの扉 第2版」 発行
2007		2007 女性の理事	
2010	2010 「仕事と生活の調和憲章」 2010 「第3次男女共同参画基本計画」	2010 委員会設置	
2013		2013 「継続は力なり-女性土木技術者のためのキャリアガイド」	
2014	2014 首相官邸 「輝く女性応援会議」設置	2014 女性登用依頼文書発信 2014 「100年ビジョン」で ダイバーシティ推進に言及	2013 一般社団法人化
2015	2014 「もっと女性が活躍できる 建設業行動計画」発表 (国交省・建設業5団体)	2015 「土木学会 D & I 行動宣言」	

委員会のこれまで

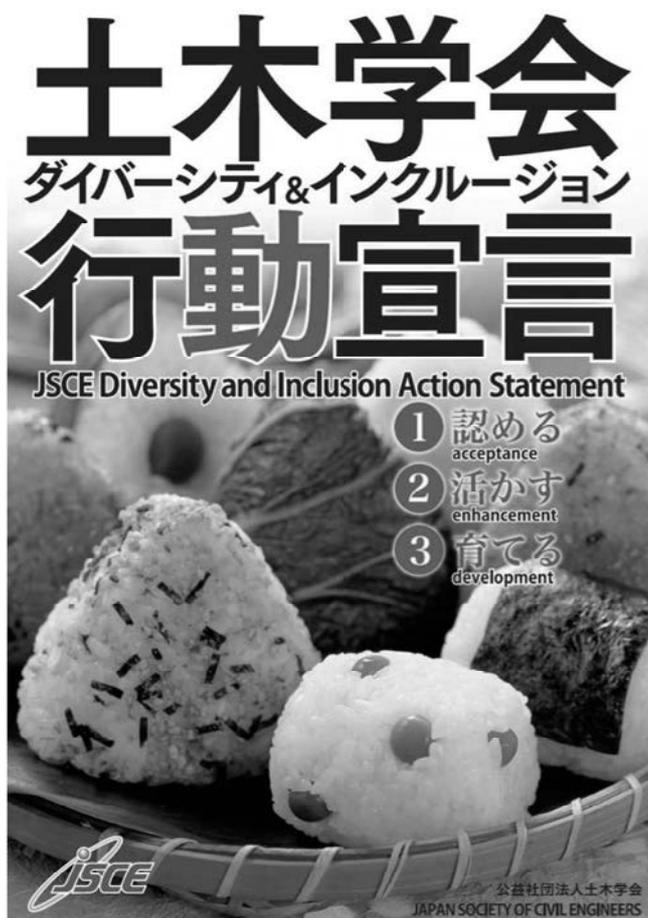


土木界の関係主体

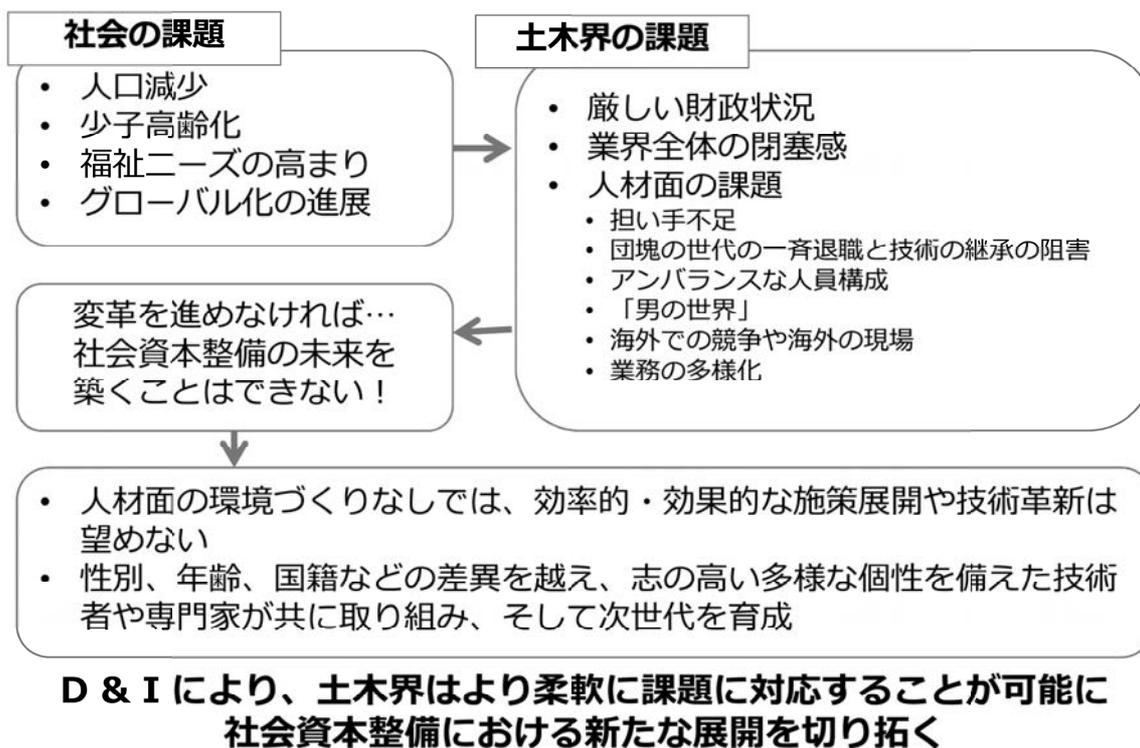


策定までの流れ

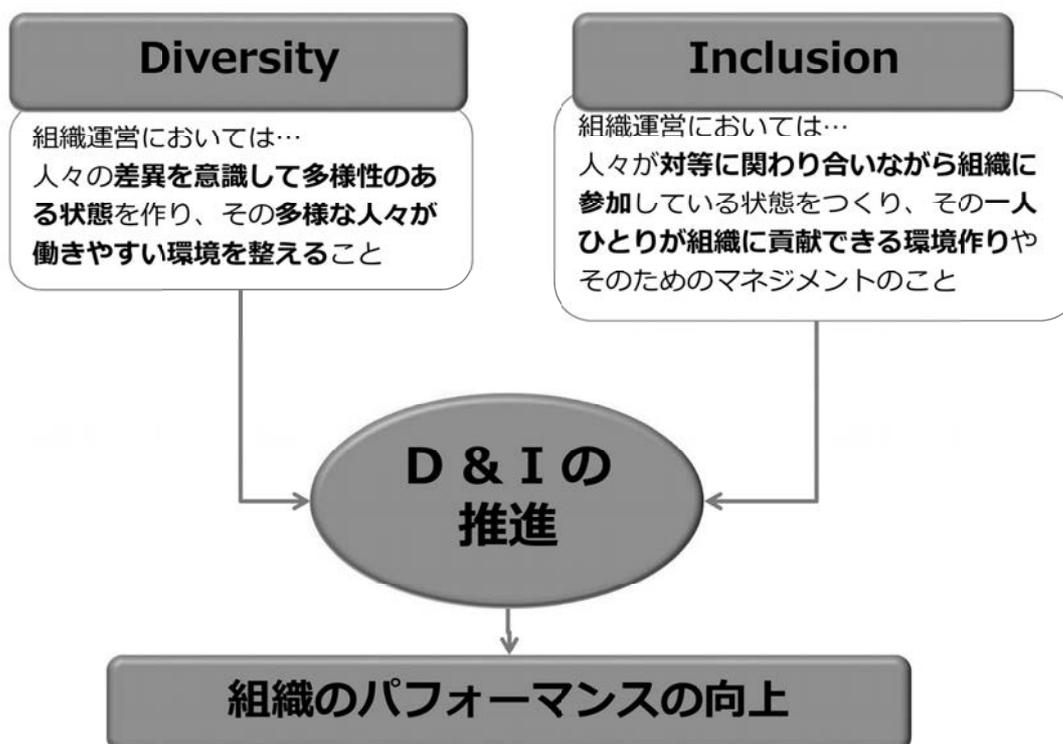
年月	出来事	内容
2014.05	理事会	ダイバーシティ推進委員会昇格を承認
2014.06	拡大幹事会	「提言」の策定と小委員会設置を検討
2014.08	委員会	「提言」の言及範囲、スケジュール、メンバー等を協議
2014.09	小委員会	小委員会発足
2014.09	正副幹事長打ち合わせ	「提言」の骨格を協議、承認手続きを確認
2014.10	小委員会（コア）	目次、キーワード、スケジュール、分担、活用方法を協議
2014.11	理事会	「提言（仮称）の概要」を報告
2014.11	小委員会（コア）	具体的な内容、執筆分担を協議
2015.02	小委員会	第1案をもとに第2案作成
2015.02	委員会	第2案を精査し、理事会報告案を作成
2015.03	理事会	「土木学会の行動宣言（案）」を報告
2015.03	小委員会（コア）	最終案、広報資料、研究討論会企画を立案
2015.04	小委員会、委員会	最終案を審議
2015.05	理事会	承認



はじめに

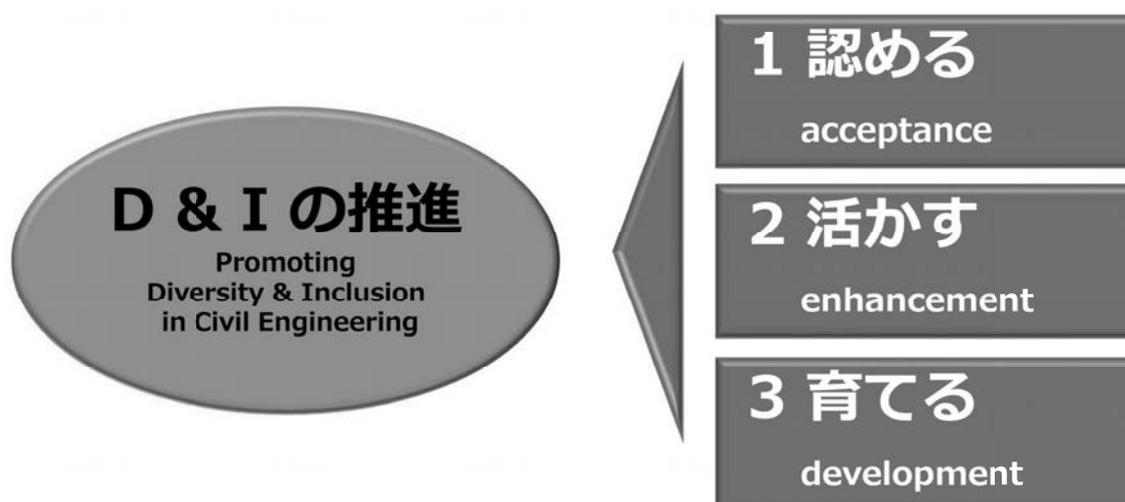


ダイバーシティ & インクルージョンとは



D & I 行動宣言

JSCE Diversity and Inclusion Action Statement



1 認める acceptance

多様性を尊重し、ちがいを認め合う

非常に多くの、かつ多様なユーザーを有し、また整備を担う専門家も多岐に亘るという土木界の特色を踏まえ、今後さらに高い水準の社会基盤整備を効果的に進めていくため、これら多様性を尊重し、認め合う取り組みを推進する。

- ① 性別、年齢、国籍はもとより、技術分野、職種から発想、価値観までの見えにく
いちがいの尊重し、認め合う。
- ② 土木技術者、社会基盤のユーザー、国民などのあらゆるステークホルダーが意見や情報を交換しながら、お互いの存在の意義や活動を尊重し、認め合う。
- ③ 風土や歴史、気質・文化など、地域が有するさまざまな特徴を尊重し、認め合う。

2 活かす enhancement

多様性を活かし、
土木を通じて社会に貢献する

社会基盤における様々な、かつ変化するニーズに対応するため、組織の創造性・柔軟性・問題解決能力等を高め、社会基盤整備を通じて社会に貢献していく。

- ① 社会基盤整備の主体となるあらゆる組織において、その**構成員として多様な人材を登用する。**
- ② 構成員の多様な能力を引き出し活用することにより、**社会基盤の質を向上させる。**
- ③ ①②を組織のあらゆる層に**浸透、実践させるためのマネジメントを継続する。**
- ④ 社会基盤整備の様々な段階に関わる組織、関係者等は、**構成員の多様性に配慮する。**
- ⑤ 地域のちがいや特徴を活かし、その**文化や景観、利用特性などを考慮した豊かな地域づくりに努める。**

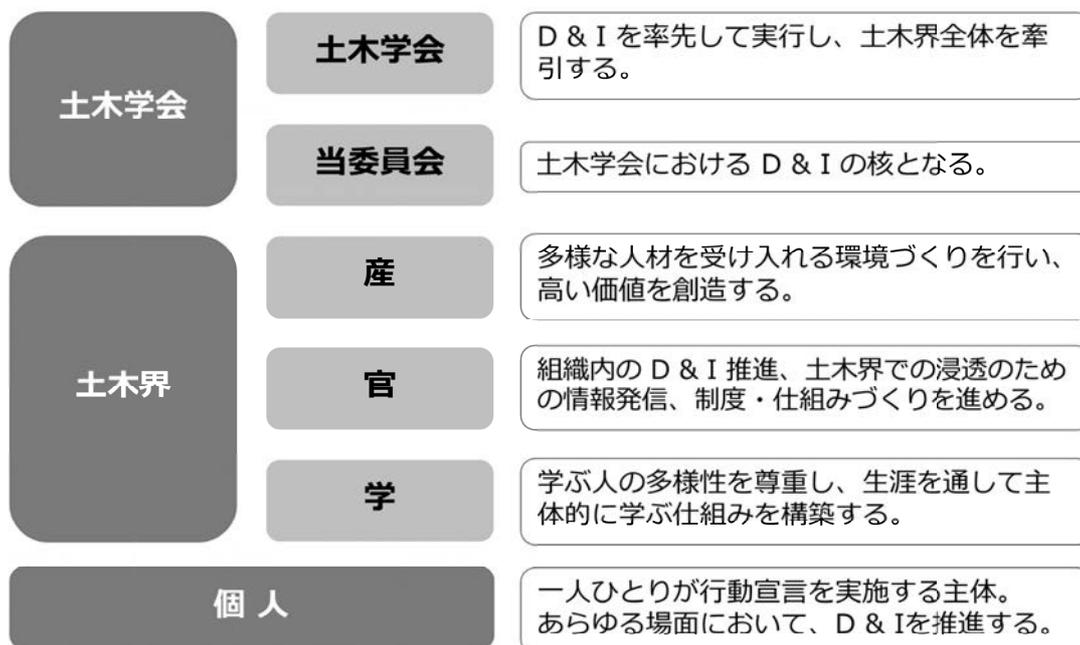
3 育てる development

人材や組織を育て、
魅力ある土木界をつくる

土木界の今後の担い手となる多様な構成員が、土木界に魅力を感じて関わり、その高い能力を発揮できるよう、人材や組織を育てる取り組みを進め、魅力ある土木界をつくる。

- ① 自身の将来を自律的に築いていけるよう、**構成員一人ひとりの多様なキャリアデザインを支援する。**
- ② 能力や貢献に応じた、**公平・公正な機会提供・処遇の人材活用を推進する。**
- ③ 安全で健康的な労働環境、育児・介護等**個々の事情を支援する労働環境を整える。**
- ④ ワークライフバランスに配慮した**多様な働き方（テレワーク、フレックスタイム等）の仕組みを広げる。**
- ⑤ 多様な組織体が**技術力を発揮し、主体的に取り組むことができるための仕組みづくりを行う。**

主体別の役割



行動宣言後の 土木学会・委員会の取り組み

- 女性委員の登用支援（継続）
- D & I 宣言についての講演や意見交換
 - 関係主体との意見交換
 - 講演素材の作成と共有
 - 研究討論会（2015.09.16）
- 報告記事等の執筆
 - 土木学会会誌（2015.08） 等

土木学会 ダイバーシティ推進委員会 提言検討小委員会（策定時）

2015年5月31日現在

委員長	田中慎一郎	日本建設技術（株）
副委員長	米山 賢	（株）建設技術研究所
〃	飯島 玲子	パシフィックコンサルタンツ（株）
委員	岡村 美好	山梨大学大学院
〃	柏倉 志乃	大成建設（株）
〃	工藤 里絵	応用地質（株）
〃	中村 英樹	（株）フジタ （前任：高山 浩一郎）
〃	中藤 誠二	関東学院大学
〃	平永 佐知子	ジェイアール東海コンサルタンツ（株）
〃	三橋 さゆり	国土交通省
〃	宮崎 早苗	（株）NTTデータ
〃	山田 菊子	東京工業大学大学院

土木学会 ダイバーシティ推進委員会

2015年8月11日現在

委員長	田中慎一郎	日本建設技術（株）（～2015年5月31日）
〃	桑野 玲子	東京大学（2015年6月1日～）
副委員長	岡村 美好	山梨大学大学院（～2015年5月31日）
〃	保田 祐司	鹿島建設（株）（2015年6月1日～）
顧問	足立 敏之	（一財）建設物価調査会（～2015年5月31日）
〃	岡村 美好	山梨大学大学院（2015年6月1日～）
〃	日下部 治	茨城工業高等専門学校
幹事長	山田 菊子	東京工業大学大学院
副幹事長	米山 賢	（株）建設技術研究所
委員	飯島 玲子	パシフィックコンサルタンツ（株）
〃	石井 勝	大日本コンサルタント（株）
〃	伊東 亮治	清水建設（株）
〃	中村 英樹	（株）フジタ （前任：高山 浩一郎）
〃	武内 志穂	（株）三菱総合研究所
〃	稲森 宏育	大成建設（株）（前任：堀越 研一）
〃	松本 香澄	東京都
〃	三橋 さゆり	国土交通省
〃	宮崎 早苗	（株）NTTデータ
〃	保田 祐司	鹿島建設（株）（～2015年5月31日）
幹事	柏倉 志乃	大成建設（株）
〃	工藤 里絵	応用地質（株）
〃	中藤 誠二	関東学院大学
〃	平永 佐知子	ジェイアール東海コンサルタンツ（株）